

— Driving Value Creation —  
**2018年3月期第2四半期  
決算説明会資料**



**mitsui & co.**

2017年11月2日  
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいませようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 目次

1 中期経営計画の進捗

2 経営成績の詳細

3 補足資料

4 セグメント別データ

# 1 中期経営計画の進捗

# 経営成績サマリー

## 収益基盤の強化

- 中核分野各事業及び鉄鋼製品の業績堅調に加え、Valepar再編に伴う評価益を計上
- Multigrain関連損失計上、鉄鋼製品サプライチェーンの強化

## 成長分野の確立

- Penske Truck Leasing持分増加を通じたモビリティ分野強化

## キャッシュフロー経営の深化と財務基盤強化

- 順調な基礎営業キャッシュ・フロー創出と資産リサイクルの着実な進展

(単位：億円)

	2017年3月期 上半期実績	2018年3月期 上半期実績	増減	2018年3月期 事業計画	進捗率
当期/上半期利益	1,220	<b>2,383</b>	+1,163	3,200	<b>74%</b>
基礎営業キャッシュ・フロー <sup>*1</sup>	1,813	<b>3,046</b>	+1,233	5,000	<b>61%</b>
フリー・キャッシュ・フロー <sup>*2</sup>	1,378	<b>2,067</b>	+689	—	—

\*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー (18/3期上半期: 1,615億円) - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー (18/3期上半期: ▲1,431億円)

\*2. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー

**通期業績予想を上方修正：当期利益 4,000億円 (+800億円)**

**基礎営業キャッシュ・フロー 6,000億円 (+1,000億円)**

# 重点施策 ① 強固な収益基盤づくりと既存事業の徹底強化

## 中核分野

- 金属資源・エネルギー：豪州鉄鉱石・石炭事業堅調、エネルギー事業コスト削減、Valepar再編評価益
- 機械・インフラ：事業全般堅調、英国揚水発電事業売却益計上
- 化学品：メタノール事業とトレーディング堅調、Novusメチオニン価格回復途上

(単位：億円)

### 当期/上半期利益

	上半期実績	事業計画	進捗率
金属資源・エネルギー	2,098	2,000	105%
機械・インフラ	470	700	67%
化学品	129	300	43%
<b>中核分野 合計</b>	<b>2,697</b>	<b>3,000</b>	<b>90%</b>
全社 合計	2,383	3,200	74%

### 基礎営業キャッシュ・フロー

	上半期実績	事業計画	進捗率
	1,944	3,500	56%
	474	800	59%
	254	500	51%
	<b>2,672</b>	<b>4,800</b>	<b>56%</b>
	3,046	5,000	61%

## 既存事業の徹底強化

- 機械・インフラ、化学品、鉄鋼製品関連トレーディング好調
- 日鉄住金物産との関係強化を通じた鉄鋼製品サプライチェーン強化

# 重点施策 ②新たな成長分野の確立

## 成長分野

2018年3月期第2四半期実績\*

	案件名	事業内容	当社の狙い
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Penske Truck Leasing (PTL社) 追加出資</li> <li>■ 英国West Midlands運営権獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ トラックリースレンタル・ロジ事業</li> <li>■ 旅客鉄道事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 貨物の複合的な輸送サービスの提供</li> <li>■ 旅客輸送における複合サービスの提供</li> </ul>
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 米国Accountable社買収</li> <li>■ Columbia Asia (CA), Panasonic Healthcare (PHC), MIMSの企業価値向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヘルスケア専門職派遣事業</li> <li>■ CA傘下の尼国3病院がPHC製測定器の導入を決定</li> <li>■ CAの全病院がMIMSのサービス導入を決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人材供給ニーズへの対応、アセット間の連携強化</li> <li>■ 「場×人×モノ×サービス×情報」を繋ぎ合わせたヘルスケア・エコシステムの構築・拡充</li> </ul>
ニュートリション・アグリカルチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 曾田香料株式の公開買付終了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 香料・関連品の製造・販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食の高付加価値ニーズの取り込み</li> </ul>

\*第2四半期の取組を記載しています。第1四半期の取組については21ページをご参照ください。

# 重点施策 ③キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

## 資産リサイクル・投融資実績（2018年3月期上半期）

- 資産リサイクルは着実に進展
- 中核分野に58%、成長分野に37%を配分

	金額	主な案件*2
資産リサイクル	<b>1,850億円</b>	【金属資源】 SUMIC清算に伴う貸付金の回収 【エネルギー】 Marcellus一部売却 【機械・インフラ】 IPP事業貸付金回収、英国揚水発電事業売却 【生活産業】 国内ビル売却 【次世代・機能推進】 国内倉庫売却
投融資*1	<b>▲2,850億円</b>	主な案件*2
中核分野	<b>▲1,650億円</b>	【金属資源】 豪州鉄鉱石・石炭事業 【エネルギー】 タイ沖石油・ガス開発、豪州石油開発、米国Cameron LNG 【機械・インフラ】 ガーナFPSO 【化学品】 欧州硫黄硫酸販社
成長分野 (含む中核分野との重複)	<b>▲1,050億円</b>	【モビリティ】 PTL社追加出資 【ヘルスケア】 米国ヘルスケア専門職派遣事業 【ニュートリション・アグリカルチャー】 曾田香料公開買付 【リテール・サービス】 米国シニアリビング事業
その他	<b>▲150億円</b>	

\*1. 定期預金の増減は除く

\*2. 青字は、第2四半期に新たに投融資を実行し、または資産リサイクルにより資金獲得した案件。  
各案件の金額については4.セグメント別データをご参照ください

# 重点施策 ③キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

## キャッシュ・フロー・アロケーション実績 (2018年3月期上半期)

- 株主還元後フリー・キャッシュ・フローの積み上げは順調に進捗

		2018年3月期 上半期実績	3年間累計 (2018年3月期～2020年3月期)
キャッシュ・イン	基礎営業キャッシュ・フロー*1...①	3,050億円	17,000億円
	資産リサイクル...②	1,850億円	7,000億円
キャッシュ・アウト	投融資...③	▲2,850億円	▲17,000～▲19,000億円
	株主還元*2...④	▲525億円	▲3,000億円
株主還元*2後のフリー・キャッシュ・フロー*3 ...①+②+③+④		1,525億円	2,000～4,000億円

\*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー

\*2. 3年間累計の欄は下限配当の合計金額

\*3. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー

経営判断による配分

追加株主還元

有利子負債の返済

追加投資



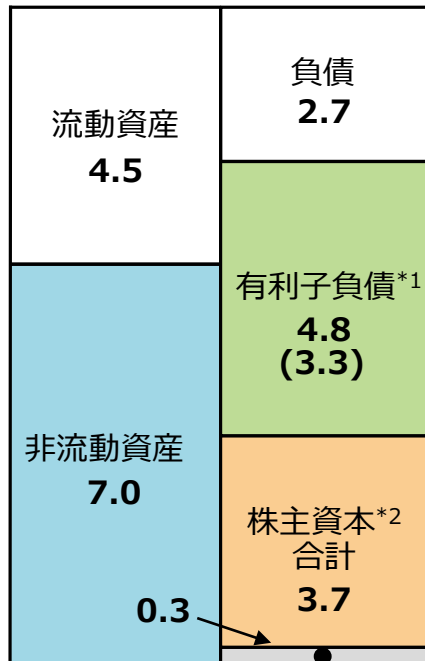


# 重点施策 ③キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

## バランスシート

(単位：兆円)

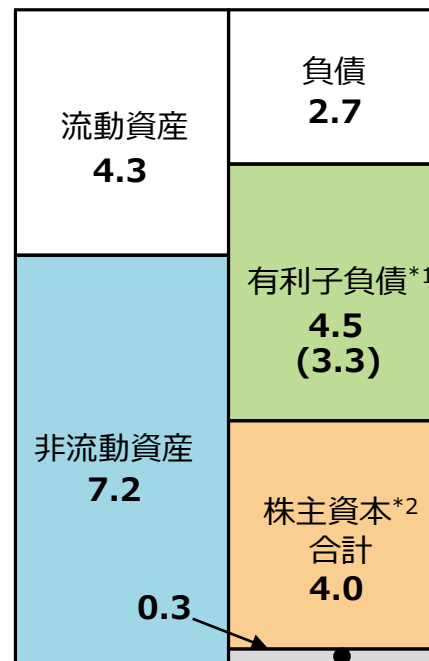
17/3



非支配持分

総資産	11.5兆円
株主資本	3.7兆円
Net DER	0.88倍

17/9



非支配持分

総資産	11.5兆円
株主資本	4.0兆円
Net DER	0.82倍

### 主な増減

ネット有利子負債 (17/3末比：▲108億円)

株主資本 (17/3末比：+2,335億円)

- ・ 上半期利益： +2,383億円
- ・ 外貨換算調整勘定： +335億円
- ・ FVTOCIの金融資産： +146億円
- ・ 配当金の支払： ▲529億円
- ・ その他： ±0億円

\*1. 有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

\*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を、株主資本と表記しています。

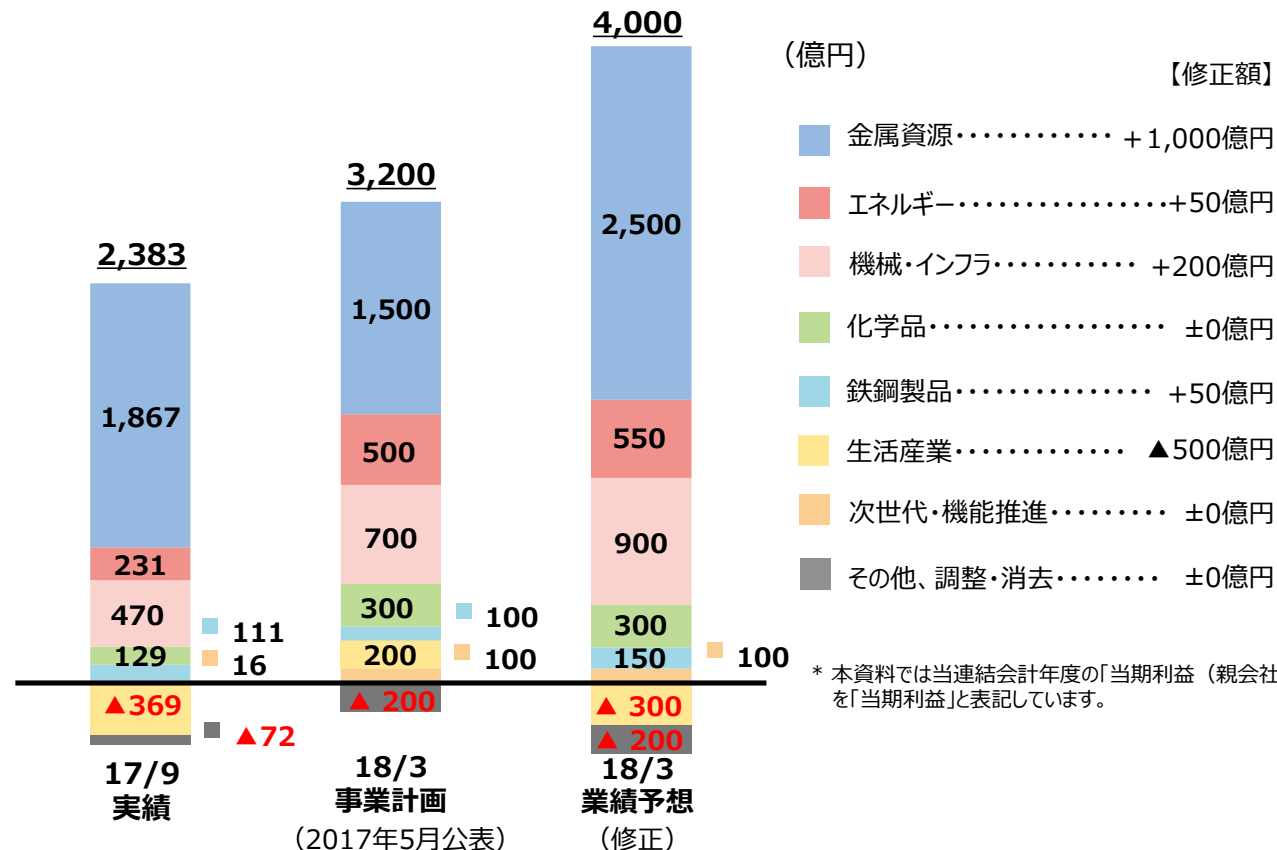


# 当期利益 2018年3月期 業績予想（修正）

当期利益\*：4,000億円に上方修正（事業計画比 +800億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

- 金属資源 : +1,000億円 Valepar再編に伴う評価益、石炭価格上昇
- 機械・インフラ : +200億円 IPP事業
- 生活産業 : ▲500億円 Multigrain関連損失

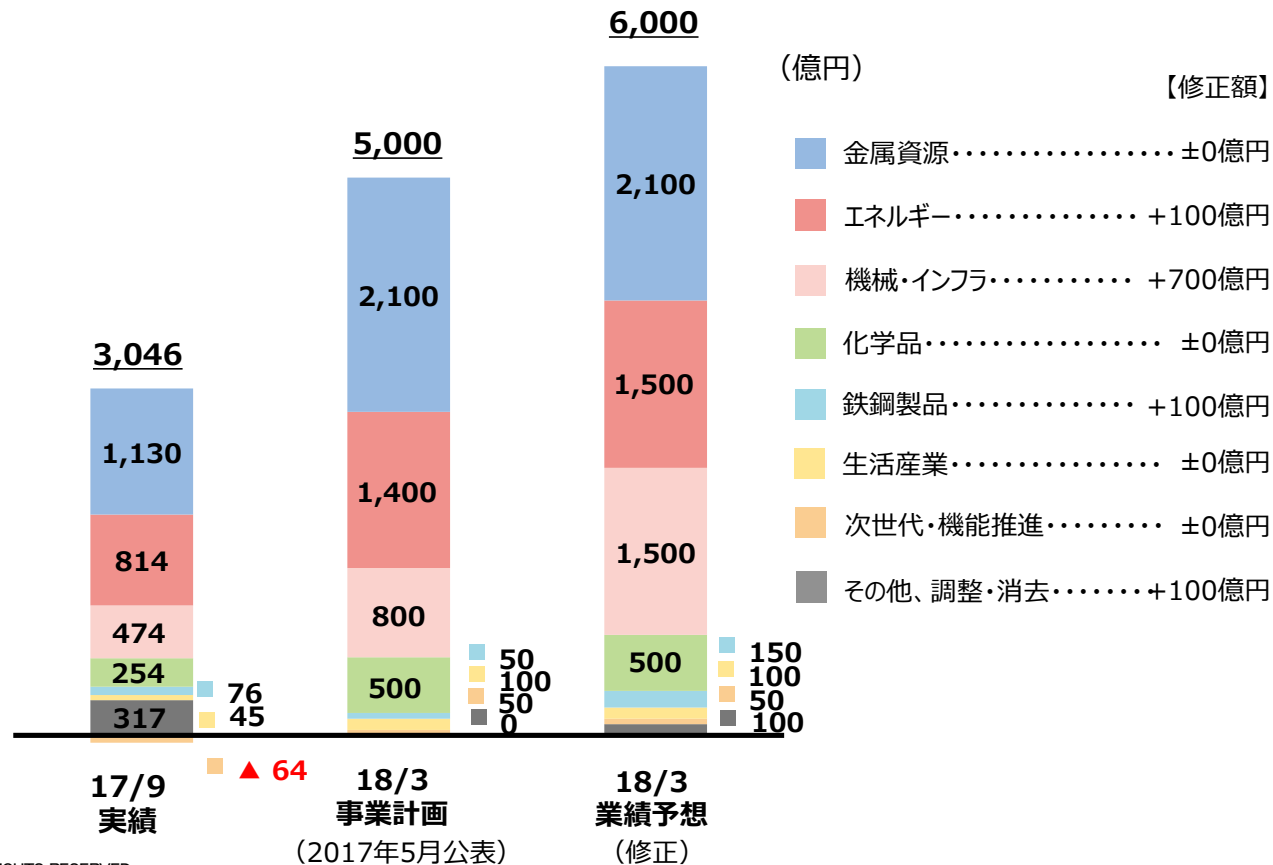


# 基礎営業キャッシュ・フロー 2018年3月期 業績予想（修正）

基礎営業キャッシュ・フロー：6,000億円に上方修正（事業計画比 +1,000億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

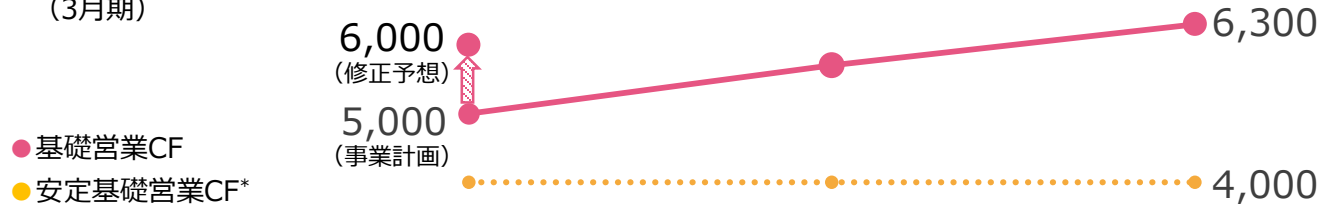
- 機械・インフラ : +700億円 IPP事業
- エネルギー : +100億円 コスト削減
- 鉄鋼製品 : +100億円 市況回復及び取扱量増加



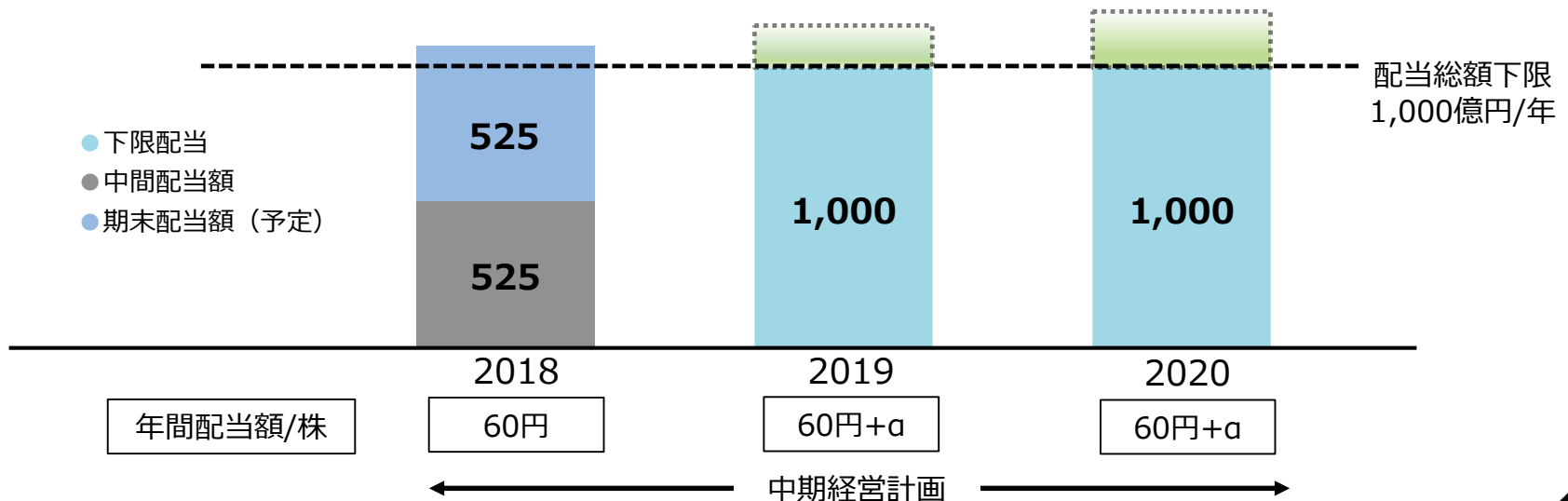
# 株主還元方針

- 予想年間配当金は1株あたり60円を据え置き、中間配当金は1株あたり30円
- 追加還元は、順調なキャッシュ創出を踏まえ、今後総合的に判断

(単位：億円)  
(3月期)



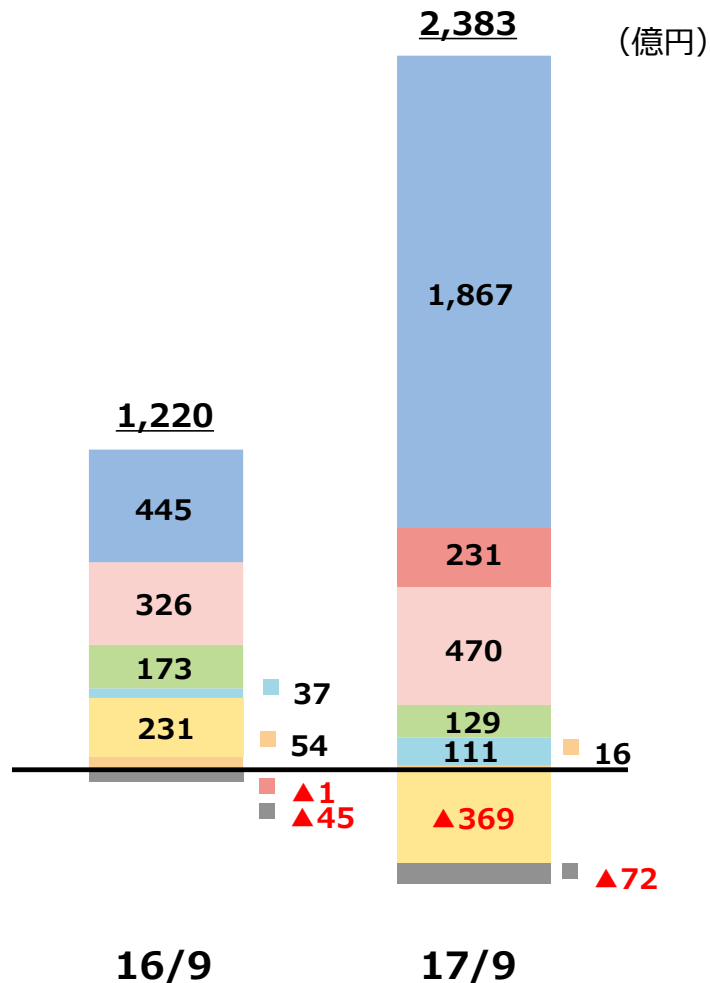
\* 中期経営計画中、当社が安定的に創出可能な基礎営業CFのレベル



## 2 経営成績の詳細

# 上半期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 上半期利益2,383億円、前年同期比+1,163億円

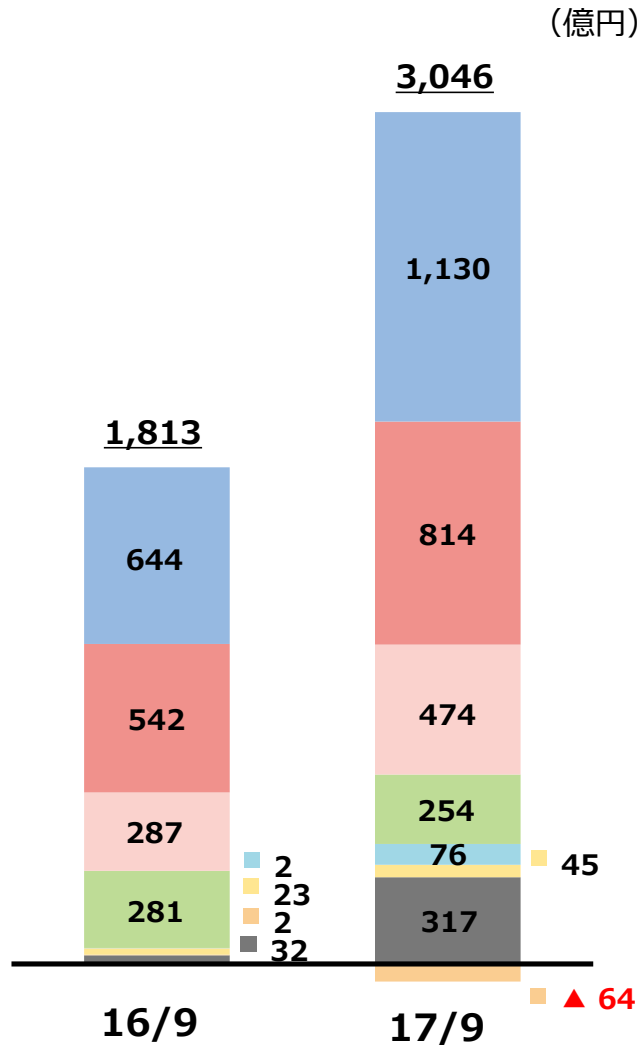


## 主な増減要因

- **金属資源 (前年同期比: +1,422億円)**  
 Valepar再編に伴う評価益  
 石炭・鉄鉱石価格の上昇による豪州石炭・鉄鉱石事業の増益  
 チリ銅鉱山事業における減損の戻入れ
- **エネルギー (前年同期比: +232億円)**  
 LNG配当金の増加  
 ガス価格の上昇及びMarcellus一部売却を主因にMEPUSA増益
- **機械・インフラ (前年同期比: +144億円)**  
 英国揚水発電所First Hydroの売却
- **化学品 (前年同期比: ▲44億円)**  
 メチオニン価格の下落に伴うNovusの減益
- **鉄鋼製品 (前年同期比: +74億円)**  
 市況回復及び取扱数量増  
 Gestamp新規連結取込み
- **生活産業 (前年同期比: ▲600億円)**  
 Multigrain関連損失  
 前年同期のIHH社株式一部売却益の反動
- **次世代・機能推進 (前年同期比: ▲38億円)**  
 新興国における携帯通信事業FVTPL  
 国内倉庫売却益
- **その他 (前年同期比: ▲27億円)**

# 基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

■ 基礎営業キャッシュ・フロー 3,046億円、前年同期比+1,233億円

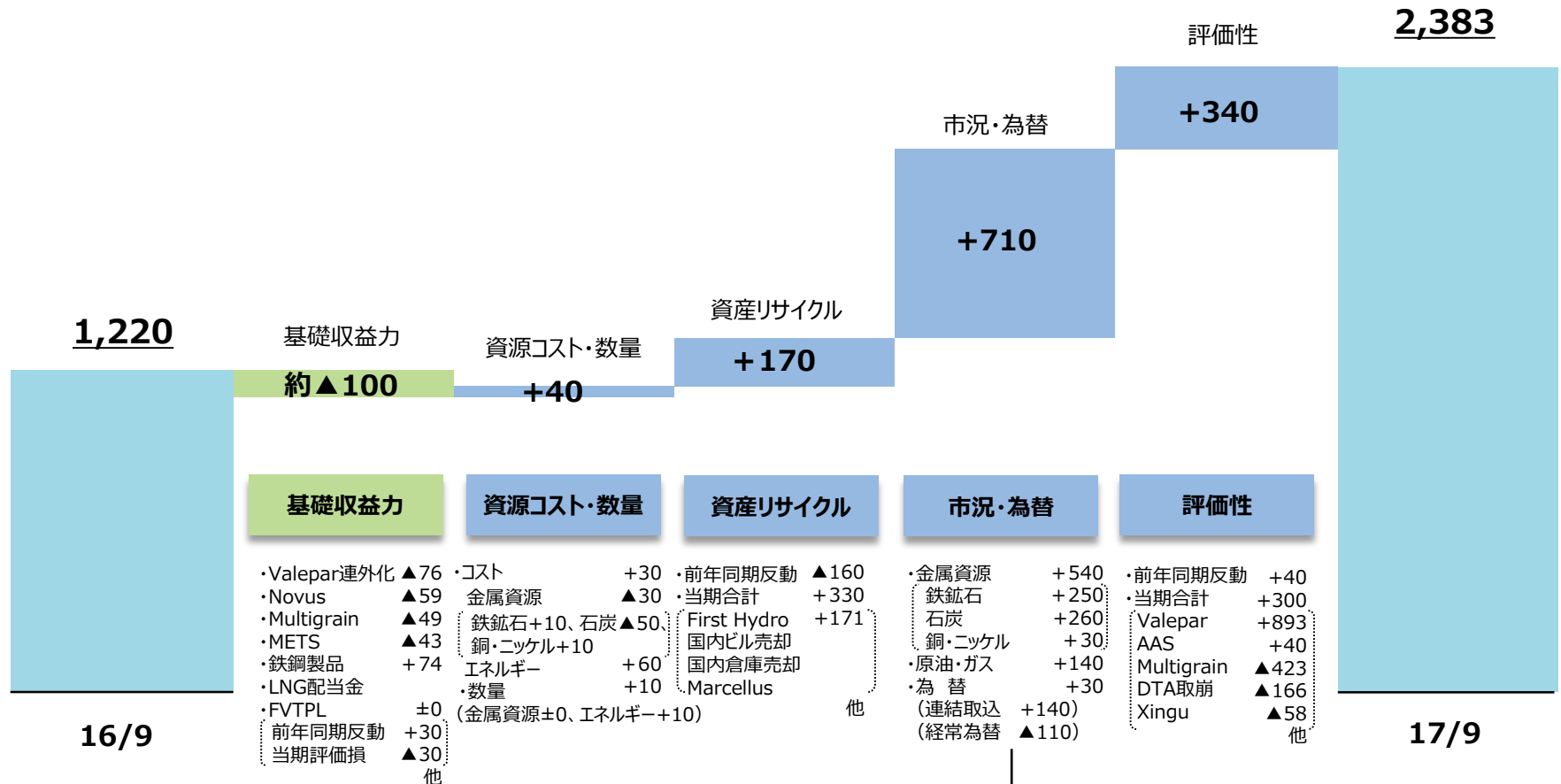


## 主な増減要因

- ↑ **金属資源 (前年同期比: +486億円)**  
石炭・鉄鉱石価格上昇
- ↑ **エネルギー (前年同期比: +272億円)**  
原油・ガス価格上昇や配当金の受取増加
- ↑ **機械・インフラ (前年同期比: +187億円)**  
IPP事業からの配当金の受取増加
- ↓ **化学品 (前年同期比: ▲27億円)**  
Novusにおけるメチオニン価格の下落  
トレーディング堅調
- ↑ **鉄鋼製品 (前年同期比: +74億円)**  
市況回復及び取扱数量増
- ↑ **生活産業 (前年同期比: +22億円)**  
XINGU業績回復
- ↓ **次世代・機能推進 (前年同期比: ▲66億円)**  
FVTPLによる売上総利益減
- ↑ **その他 (前年同期比: +285億円)**  
各セグメントに賦課しない経費・利息・税金等

# 上半期利益 要素別増減要因

(単位：億円)



為替明細

・金属資源	▲30	(連結取込 +70、経常為替 ▲100)
・エネルギー	+30	(連結取込 +40、経常為替 ▲10)
・その他	+30	(連結取込 +30、経常為替 ±0)





# 3 補足資料

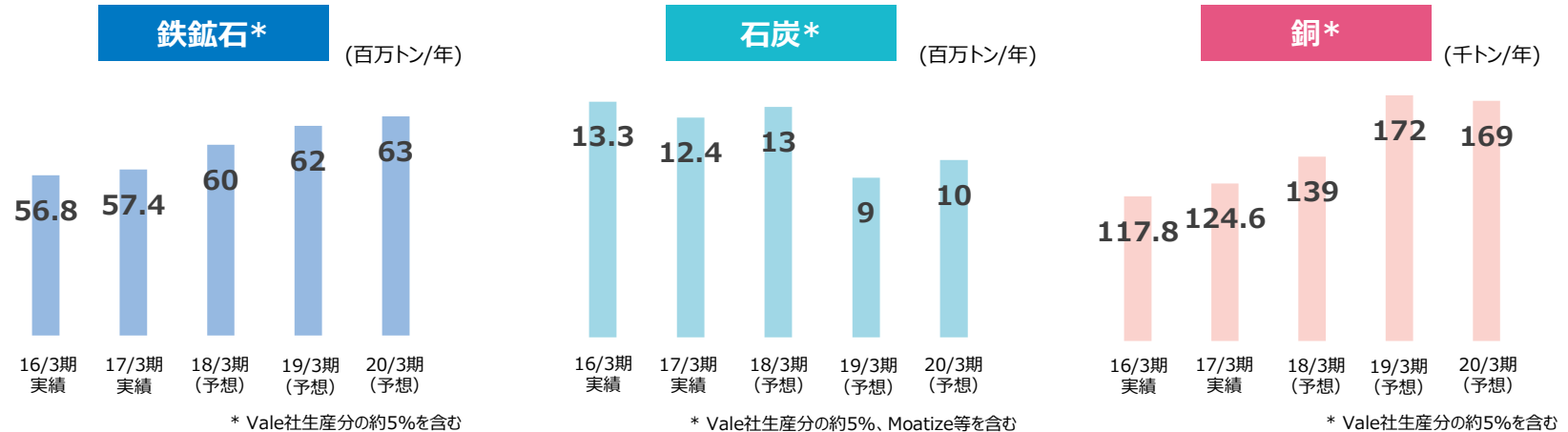
# 前提条件および感応度

価格変動の18/3期当期利益 への影響額 (2017年5月公表)			18/3事業計画 (2017年5月公表)	18/3上半期 (実績)	18/3下半期 (前提)	18/3通期予想 (上・下平均値)
市況商品	原油/JCC	28億円 (US\$1/バレル)	54	51	50	51
	連結油価(*1)		53	52	50	51
	米国ガス(*2)	4億円 (US\$0.1/mmBtu)	3.00	3.11(*3)	2.98(*4)	3.05
	鉄鉱石	25億円 (US\$1/トン)	(*5)	66.9(*6)	(*5)	(*5)
	銅	10億円 (US\$100/トン)	5,600	5,748(*7)	6,410	6,079
為替 (*8)	米ドル	20億円 (¥1/米ドル)	110.00	111.30	110.00	110.65
	豪ドル	17億円 (¥1/豪ドル)	85.00	86.03	87.00	86.52
	伯リアル	4億円 (¥1/伯リアル)	35.00	34.75	35.00	34.88

- (\*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。18/3期には31%が4～6ヵ月遅れで、38%が1～3ヵ月遅れで、31%が遅れ無しで反映されると想定される。
- (\*2) 当社が米国で取り扱う天然ガスは必ずしもHenry Hub (HH) に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対する感応度ではなく、加重平均ガス販売価格に対する感応度。
- (\*3) 米国ガスの18/3期上半期実績欄には、2017年1月～6月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。
- (\*4) HH連動の販売価格は、下半期のHH価格US\$2.98/mmBtuを前提として使用している。
- (\*5) 鉄鉱石の前提価格は非開示。
- (\*6) 鉄鉱石の18/3期上半期実績欄には、2017年4月～9月の複数業界紙によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値（参考値）を記載。
- (\*7) 銅の18/3期上半期実績欄には、2017年1月～6月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。
- (\*8) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対する感応度。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

# 金属資源：当社持分権益生産量及び生産量実績

## 持分権益生産量



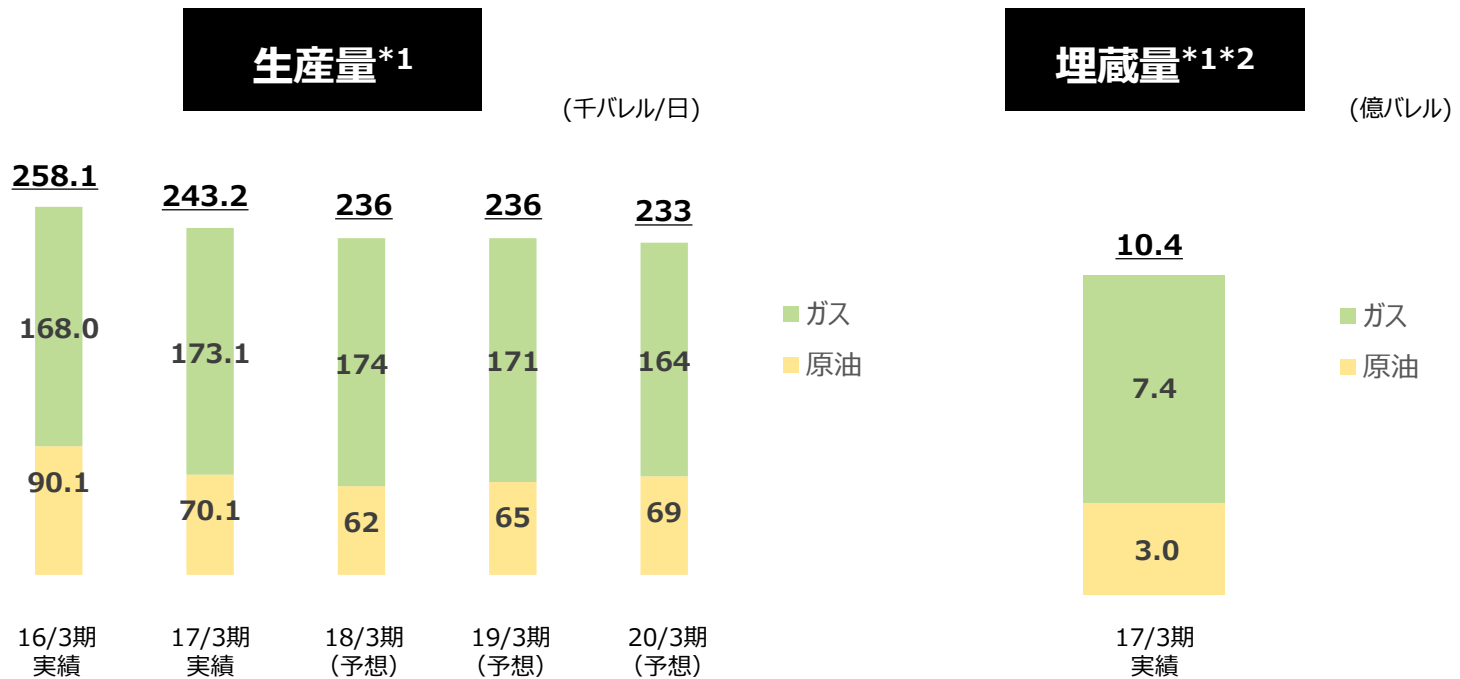
## 生産量実績

	2017年3月期					2018年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	累計
<b>鉄鉱石 (百万トン)</b>	13.8	14.3	15.2	14.1	57.4	14.3	15.3	29.6
豪州鉄鉱石	9.9	10.0	10.6	9.5	40.0	10.0	10.3	20.3
Vale* <sup>1</sup>	3.9	4.3	4.6	4.6	17.4	4.3	5.0	9.3
<b>石炭*<sup>2</sup> (百万トン)</b>	3.1	3.3	3.0	3.0	12.4	3.1	3.5	6.6
MCH	2.5	2.4	2.4	2.3	9.6	2.1	2.4	4.5
BMC* <sup>1</sup>	0.4	0.5	0.4	0.4	1.7	0.4	0.4	0.8
原料炭	2.0	2.1	2.0	2.0	8.1	1.9	2.1	4.0
一般炭	0.9	0.8	0.8	0.7	3.2	0.6	0.7	1.3
Moatize	-	-	-	-	-	0.3	0.4	0.7
<b>銅*<sup>1*2</sup> (千トン)</b>	30.4	29.9	30.4	33.9	124.6	32.2	28.4	60.6

\*1 Vale、BMC及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

\*2 Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2018/3 2Q以降:5.5%)等を含む。

# エネルギー：原油ガス持分権益生産量・埋蔵量



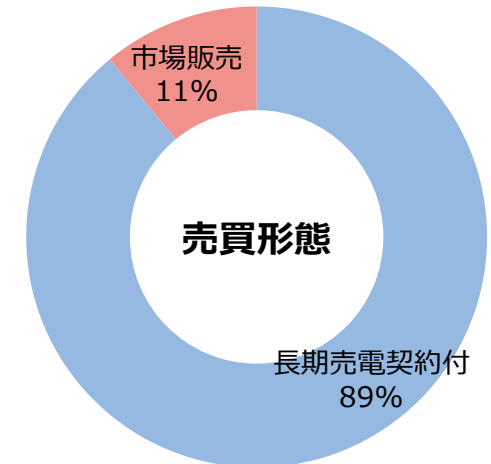
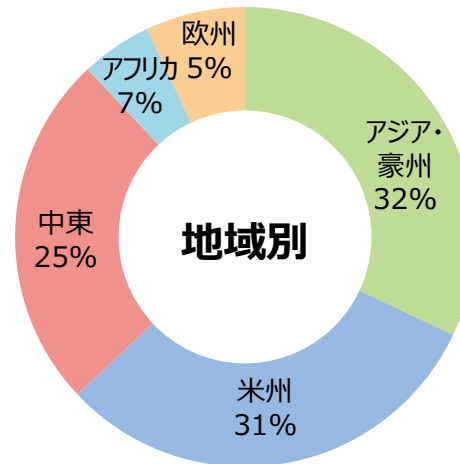
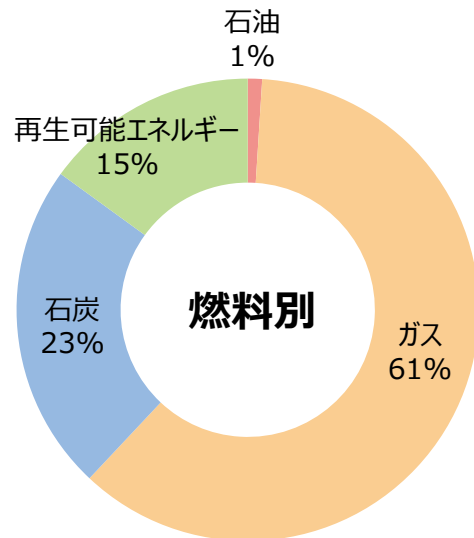
\*1. 石油換算  
当社連結子会社・関係会社・非連結先の当社権益保有見合い

\*2. 当社独自の基準による

# 機械・インフラ 発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量（ネット）： **10.1GW**  
（グロス容量：37GW）

2017年9月末現在



# 重点施策 ②新たな成長分野の確立

## 成長分野

2018年3月期第1四半期実績\*

	案件名	事業内容	当社の狙い
モビリティ	■ 米KAAP社設備増強決定	■ 自動車部品の製造・販売	■ 車体軽量化ニーズの取り込み
ヘルスケア	■ 露R-ファーム社株式取得合意	■ 露最大手の製薬会社	■ 高付加価値新薬ニーズの取り込み
ニュートリション・アグリカルチャー	■ 曾田香料株式の公開買付方針決定	■ 香料・関連品の製造・販売	■ 食の高付加価値ニーズの取り込み

\* 当四半期の取組については5ページをご参照ください。

# 4 セグメント別データ

# 金属資源

## Valepar再編に伴う評価益を主因にPAT上方修正、CFは据置き

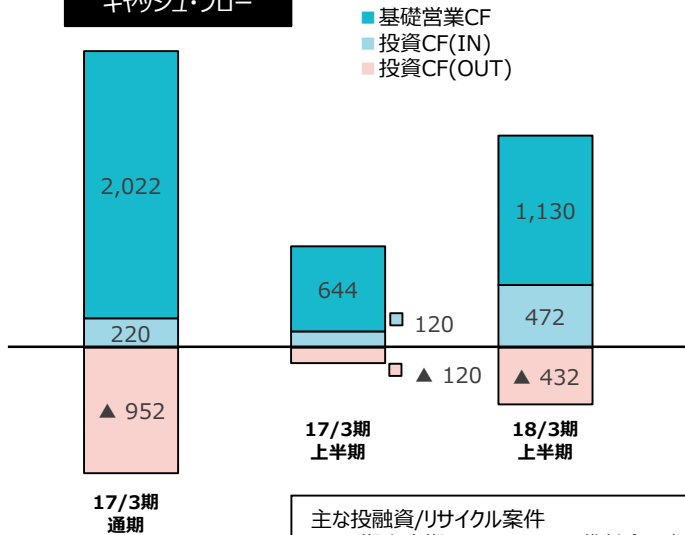
(単位：億円)

業績	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	18/3期 修正通期予想	進捗率*2	18/3期 事業計画	増減理由
上半期利益	445	1,867	+1,422	2,500	75%	1,500	
売上総利益	600	1,157	+557				↑豪鉄鉱石（鉄鉱石価格上昇） ↑豪石炭（石炭価格上昇）
持分法損益	267	342	+75				↑Oriente/AAS（減損戻入）、RRMC（鉄鉱石価格上昇）
受取配当金	4	39	+35				
販管費	▲160	▲166	▲6				
その他	▲266	495	+761				↑Valepar再編に伴う評価益
基礎営業キャッシュ・フロー	644	1,130	+486	2,100	54%	2,100	
総資産	19,622*1	22,866	+3,244				

\*1. 2017年3月末

\*2. 修正通期予想に対する進捗率

### キャッシュ・フロー



主な投融资/リサイクル案件  
18/3期上半期：(IN)SUMIC貸付金回収 + 194  
(OUT)豪州鉄鉱石・石炭事業

### 主要関係会社業績

	会社名	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	17/3期 通期
連結	豪州鉄鉱石事業*3	405	542	+137	1,029
	豪州石炭事業*3	59	263	+204	343
持分法	Valepar	145	94	▲51	190
	Oriente Copper Netherlands	▲13	30	+43	▲86
	三井物産カッパー・インベストメント	▲54	▲33	+21	▲89
	Japan Collahuasi Resources	11	17	+6	33
	オールドス電力冶金	21	24	+3	46

\*3. 一部損益は持分法により取込



## エネルギー

## コスト削減及びLNG配当金増加を主因にPAT・CF共に上方修正

(単位：億円)

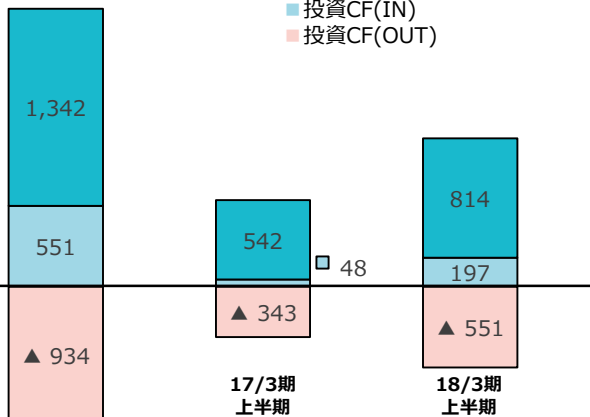
業績	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	18/3期 修正通期予想	進捗率*2	18/3期 事業計画	増減理由
<b>四半期利益</b>	<b>▲1</b>	<b>231</b>	<b>+232</b>	<b>550</b>	<b>42%</b>	<b>500</b>	
売上総利益	302	453	+151				↑MEPUSA/MEPTX/MEPAU (ガス価/油価上昇) ↓METS (トレーディング不調)
持分法損益	52	92	+40				
受取配当金	73	177	+104				↑LNGプロジェクト6案件
販管費	▲216	▲216	0				
その他	▲212	▲275	▲63				↓税前利益増加に伴う法人税負担増 ↑コスト削減
<b>基礎営業キャッシュ・フロー</b>	<b>542</b>	<b>814</b>	<b>+272</b>	<b>1,500</b>	<b>54%</b>	<b>1,400</b>	
<b>総資産</b>	<b>19,053*1</b>	<b>18,932</b>	<b>▲121</b>				

\*1. 2017年3月末

\*2. 修正通期予想に対する進捗率

## キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投資/リサイクル案件  
 18/3期上半期：(IN)Marcellus一部売却+158  
 (OUT)原油・ガス開発▲442(シェール以外)  
 米国Cameron LNG

## 主要関係会社業績

	会社名	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	17/3期 通期
連結	三井石油開発*3	22	32	+10	67
	Mitsui E&P Australia	▲6	8	+14	17
	Mitsui E&P Middle East	▲1	22	+23	25
	Mitsui E&P USA	▲36	50	+86	▲51
	MEP Texas Holdings	▲6	29	+35	9
	Mitsui E&P Mozambique Area 1	▲19	▲15	+4	▲31
	Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	8	▲35	▲43	12
	持分法	Japan Australia LNG (MIMI)*4	-	-	-

\*3. 一部損益は持分法により取込 \*4. 守秘義務契約により業績非開示

# 機械・インフラ

## IPP事業のリサイクル・資金回収を見込みPAT・CF共に上方修正

(単位：億円)

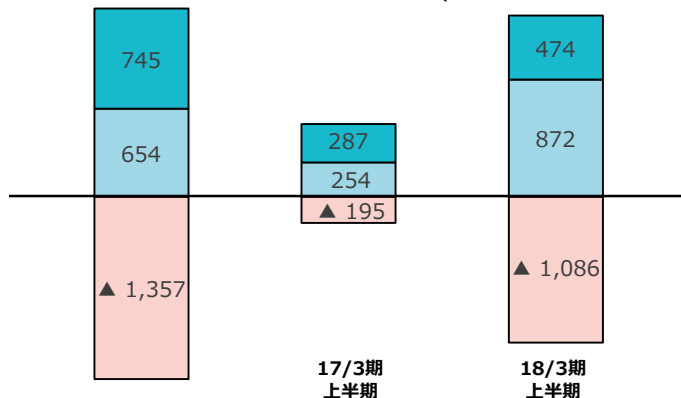
業績	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	18/3期 修正通期予想	進捗率*2	18/3期 事業計画	増減理由
<b>四半期利益</b>	<b>326</b>	<b>470</b>	<b>+144</b>	<b>900</b>	<b>52%</b>	<b>700</b>	
売上総利益	536	603	+67				
持分法損益	413	561	+148				↑IPP事業リサイクル益
受取配当金	19	22	+3				
販管費	▲559	▲607	▲48				
その他	▲83	▲109	▲26				
<b>基礎営業キャッシュ・フロー</b>	<b>287</b>	<b>474</b>	<b>+187</b>	<b>1,500</b>	<b>32%</b>	<b>800</b>	
<b>総資産</b>	<b>22,381*1</b>	<b>23,212</b>	<b>+831</b>				

\*1. 2017年3月末

\*2. 修正通期予想に対する進捗率

### キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件  
 18/3期上半期：(IN)IPP事業+280、英国揚水発電事業+184  
 (OUT)PTL持分追加取得▲483、ガーナFPSO

### 主要関係会社業績

	会社名	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	17/3期 通期
連結	三井物産プラントシステム	6	25	+19	19
	鉄道車輛リース事業会社*3	16	22	+6	33
持分法	IPP事業関連会社	125	282	+157	86
	FPSO/FSOリース事業関連会社	33	41	+8	78
	ガス配給事業	53	29	▲24	89
	Penske Automotive Group	31	36	+5	63
	トラックリース・レンタル事業会社	6	7	+1	22
	アジア自動車（製造・卸売）関連事業	38	34	▲4	75
	VLI	14	15	+1	22

\*3. 一部損益は持分法により取込

# 化学品

メチオンン価格下落するも、トレーディング堅調によりPAT・CF共に据置き

(単位：億円)

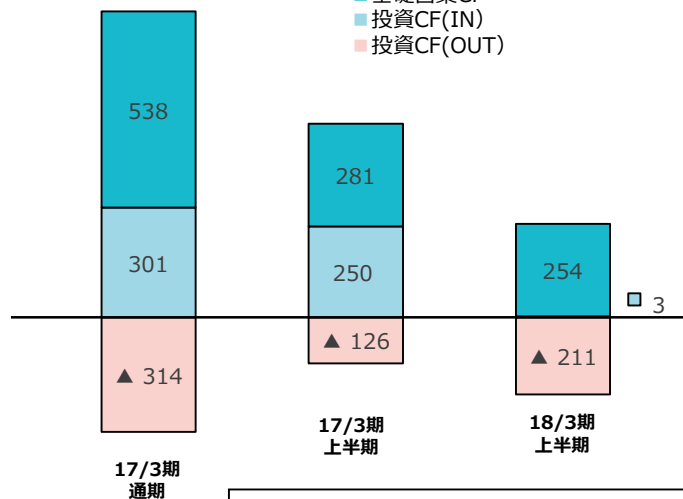
業績	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	18/3期 修正通期予想	進捗率*2	18/3期 事業計画	増減理由
<b>四半期利益</b>	<b>173</b>	<b>129</b>	<b>▲44</b>	<b>300</b>	<b>43%</b>	<b>300</b>	
売上総利益	729	683	▲46				↓ Novus (メチオンン価格下落)
持分法損益	9	44	+35				
受取配当金	11	12	+1				
販管費	▲460	▲487	▲27				
その他	▲116	▲123	▲7				
<b>基礎営業キャッシュ・フロー</b>	<b>281</b>	<b>254</b>	<b>▲27</b>	<b>500</b>	<b>51%</b>	<b>500</b>	
<b>総資産</b>	<b>11,752*1</b>	<b>11,823</b>	<b>+71</b>				

\*1. 2017年3月末

\*2. 修正通期予想に対する進捗率

## キャッシュ・フロー

■ 基礎営業CF  
■ 投資CF(IN)  
■ 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件  
18/3期上半期：(OUT)欧州硫黄硫酸事業、曾田香料公開買付

## 主要関係会社業績

	会社名	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	17/3期 通期
連結	MMTX	3	9	+6	17
	Intercontinental Terminals Company	25	24	▲1	48
	三井物産プラスチック	14	19	+5	32
	Novus International	64	5	▲59	87
	Mitsui AgriScience(欧米)	15	19	+4	16
持分法	日本アラビアメタノール	3	14	+11	9

## 鉄鋼製品

## 市況回復及び取扱数量増によりPAT・CF共に上方修正

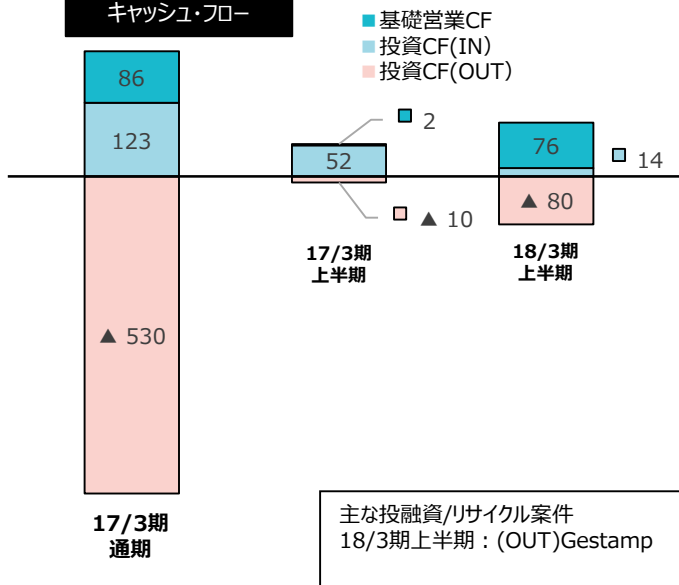
(単位：億円)

業績	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	18/3期 修正通期予想	進捗率*2	18/3期 事業計画	増減理由
<b>四半期利益</b>	<b>37</b>	<b>111</b>	<b>+74</b>	<b>150</b>	<b>74%</b>	<b>100</b>	
売上総利益	165	248	+83				↑市況回復、取扱数量増
持分法損益	55	75	+20				↑Gestamp事業会社
受取配当金	11	13	+2				
販管費	▲172	▲178	▲6				
その他	▲22	▲47	▲25				
<b>基礎営業キャッシュ・フロー</b>	<b>2</b>	<b>76</b>	<b>+74</b>	<b>150</b>	<b>51%</b>	<b>50</b>	
<b>総資産</b>	<b>6,126*1</b>	<b>6,687</b>	<b>+561</b>				

\*1. 2017年3月末

\*2. 修正通期予想に対する進捗率

## キャッシュ・フロー



## 主要関係会社業績

	会社名	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	17/3期 通期
連結	三井物産スチール	17	35	+18	37
	CHAMPION CINCO PIPE & SUPPLY*3	▲48	12	+60	▲52
持分法	Gestamp事業会社	2	21	+19	6
	Game Changer Holdings	18	15	▲3	36

\*3. 17/3期は個社でDTA取崩による損失▲35を計上。鉄鋼製品セグメントではDTA再計上により影響なし。

## 生活産業

Multigrain関連損失を主因にPAT下方修正、流通事業堅調によりCFは据置き

(単位：億円)

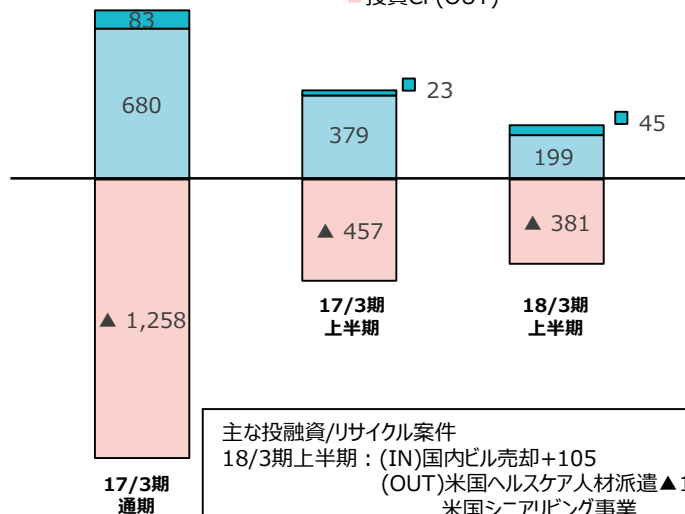
業績	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	18/3期 修正通期予想	進捗率*2	18/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	231	▲369	▲600	▲300	-	200	
売上総利益	658	685	+27				↑Xingu (前年同期干ばつ反動) ↓Multigrain (集荷販売事業不調)
持分法損益	149	119	▲30				
受取配当金	29	25	▲4				
販管費	▲688	▲756	▲68				
その他	83	▲442	▲525				↓Multigrain関連損失、前年同期:IHH株式一部売却、 Xingu減損、↑国内ビル売却益
基礎営業キャッシュ・フロー	23	45	+22	100	45%	100	
総資産	17,234*1	18,392	+1,158				

\*1 2017年3月末

\*2. 修正通期予想に対する進捗率

## キャッシュ・フロー

■ 基礎営業CF  
■ 投資CF(IN)  
■ 投資CF(OUT)



## 主要関係会社業績

	会社名	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	17/3期 通期
連結	Multigrain Trading	16	▲456	▲472	▲12
	三井農林	▲1	16	+17	▲20
	国内流通関連事業会社	17	35	+18	40
	三井物産都市開発	7	16	+9	24
持分法	三井製糖	38	16	▲22	51
	WILSEY FOODS	24	7	▲17	35
	MBK Healthcare Partners *3	171	11	▲160	173
	パナソニックヘルスケアホールディングス*4	-	-	-	-
	エムサービス	13	14	+1	19

\*3. 17/3期のIHH株式一部売却益は有価証券売却益に計上 \*4. 守秘義務契約により業績非開示

# 次世代・機能推進

上半期に一部損失計上したものの、PAT・CF共に据置き

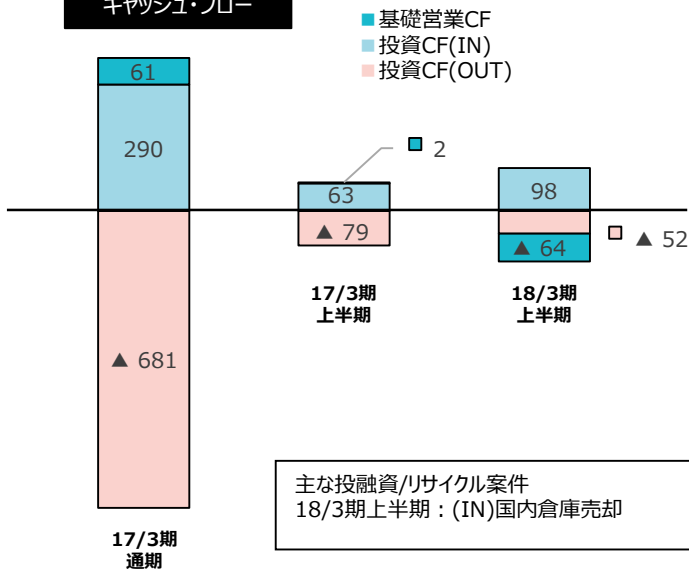
(単位：億円)

業績	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	18/3期 修正通期予想	進捗率*2	18/3期 事業計画	増減理由
<b>四半期利益</b>	<b>54</b>	<b>16</b>	<b>▲38</b>	<b>100</b>	<b>16%</b>	<b>100</b>	
売上総利益	265	198	▲67				↓新興国携帯通信事業FVTPL、為替差損益改善見合い ↑Hutchison China MediTech FVTPL
持分法損益	47	41	▲6				
受取配当金	28	24	▲4				
販管費	▲254	▲260	▲6				
その他	▲32	13	+45				↑国内倉庫売却益 ↑売上総利益悪化見合い
<b>基礎営業キャッシュ・フロー</b>	<b>2</b>	<b>▲64</b>	<b>▲66</b>	<b>50</b>	<b>-</b>	<b>50</b>	
<b>総資産</b>	<b>6,114*1</b>	<b>6,069</b>	<b>▲45</b>				

\*1. 2017年3月末

\*2. 修正通期予想に対する進捗率

## キャッシュ・フロー



## 主要関係会社業績

	会社名	17/3期 上半期	18/3期 上半期	増減	17/3期 通期
連結	三井情報	2	4	+2	13
	Mitsui Bussan Commodities	2	▲3	▲5	8
	三井物産グローバルロジスティクス	16	13	▲3	19
	三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	1	3	+2	17
持分法	Asia Pacific Mobile	▲7	▲10	▲3	▲26
	QVC ジャパン*3	-	-	-	44
	JA三井リース	27	17	▲10	33

\*3. 守秘義務契約により四半期業績非開示

360° business innovation.



MITSUI & CO.